

錦織圭がバルセロナオープンで2連覇した。バルセロナオープンは、錦織が若い頃得意にしていたクレーコートだ。

テニスは大きく3つの種類のコートに分けられる。ハードコート

↓コンクリートのコート。硬く大きく弾むコートで、球速は速い。グラスコート↓天然芝で、球足が滑る

ように速く、バウンドしにくいコート。クレーコート↓土のコートで、球足が遅く高く弾むコート。単純に考えると、日本人は球速の遅くなる

クレーが一番有利なのだ。が、テニスの世界ツアーはコートごとに、ハードの季節クレーの季節グラスの季節に分けられる。球速の速いハードコ

くなる。しかし、彼のクラスになると事情は変わる。ハードやグラスの時にはすぐに決まる試合が、クレーでは長時間のラリーを強いられる

本人の体へのダメージは相当なものになる。ということ、本来有利なはずのコートも不利になるのだ。そのクレーで2連覇した意義は大きい。

今日 つれづれ



神戸 睦史
〈ハウゼコ〉

トでは、2m超のビッグサーブが出てくると、身長が低く手足の短い錦織は手も足も出ない。クレーでは、球速が遅くなるので戦いやす

ケースが多い。屈強な欧米人とのハードなラリーを大会期間中続け、そしてクレーシーズンはその様な大会が続く。華奢な日

「だから僕がすべての重要なゲームを取ったが、今日、全体的に見れば、彼のほうがよりよい選手だったかもしれない」

最後に錦織の勝利インタビューの言葉を紹介する。結局、テニスがうまいのと勝つことは別物だということなのか。